

大会 1 日目 2024.10.12 (土) 会場別プログラム

※プログラムは予告なく一部変更する場合があります。 9月9日現在

会場	1F				2F						ポスター会場 1F
	第一会場 (大ホール AB) 1000名	第二会場 (特別会議場) 500名	第三会場 (中ホール A) 240名	第四会場 (中ホール B) 240名	第五会場 (206) 120名	第六会場 (207) 120名	第七会場 (小ホール) 193名 ※飲食禁止	第八会場 (204) 240名	第九会場 (201・202)	第十会場 (茶室)	ポスター会場 (大ホール C・107・108)
9:00	9:00-9:35 開会 大会長講演 田巻知宏 梶原陽子										9:00-11:30
10:00	9:40-10:40 講演 ホスピスのこころを究める 日本のホスピス50年が築 き上げたもの 座長：木村祐輔 演者：前野 宏	10:00-11:00 講演 がんになった親の 子どもたちのサポート 座長：石岡 明子 演者：大沢かおり	9:40-11:10 教育研修委員会企画 共に学びましょう 「死の臨床に活かすコ ミュニケーション」 ～ACPの鍵は、 コミュニケーション 実践！ ACPの 「始め方」「進め方」～	10:00-11:00 講演 グリーフ・グリーフケア について 座長：杉目敦子 演者：大西秀樹	9:50-10:50 事例検討① 何もしないで静かに逝かせて「介 入を拒否する患者に難渋した1例 ～「拒否」は信念に基づく自律か～ 座長：池永昌之、澤井美穂 事例提供：小野寺志保	9:50-10:50 事例検討② 「お金をください、銀行員さん」 ～患者の願いを叶えたい思いと、 経済的問題で葛藤したMSWの苦悩～ 座長：橋本 淳、御牧由子 事例提供：矢羽田有希子	10:00-11:00 講演 コロナ禍を経て緩和ケア の医療者が体験した モラルディストレス 座長：藤原葉子 演者：上村恵一	9:40-10:00 ブース展示 小さなベビー服ちくちくの会 他			ポスター貼付け
11:00	10:50-11:50 講演 随想死の臨床 一小さな声と大いなるいのち 座長：前野 宏 演者：方波見康雄	11:10-12:10 講演 長生きのゆけえ —仏教と医療のかけ橋— 座長：佐々木光明 演者：早島 理	11:20-12:20 講演 人生の最終段階での 食支援 座長：村井美代 演者：児玉佳之	11:10-12:10 講演 グリーフケアに求められるも の～妻との死別後の語りから 座長：下倉賢士 演者：田村里子	11:00-12:00 事例検討③ 医療者が傍に居ることを求めた患者と 寄り添い続けたわれわれの日常に「これ でいいか」と心を揺らしたものは何か 座長：安部睦美、原敬 事例提供：大島理子	11:00-12:00 事例検討④ 緩和ケア外来にて化学療法を 希望した膵臓がん患者の1例 座長：奥野貴史、高屋敷麻理子 事例提供：中山 啓	11:10-12:20 シンポジウム つらさやかなしさを持つ 人々を受け止める ホスピタルアート 座長：志田 勇人 演者：日野間尋子、森 合音	10:00-11:30 シンポジウム 周産期喪失後のグリーフ ～地域でどう支えるか？～ 座長：敦賀健吉 演者：菅原美帆、寺澤ゆりか、 勝谷理恵	10:30-12:00 公開句会 秋を味わう句会 ～人生は俳句だ！～ 月番：如水こと 齊藤 英一 清記：広見こと 小林孝一郎 宗匠：遊水こと 志真 泰夫 演者：かんわ春秋句会同人他	11:00-12:30 茶席 茶坊主のおもてなし —ごころ一休み 亭主：櫻井義秀	
12:00											
13:00	12:30-13:30 会員集会 代表理事特別講演 ケアリングマインドの普遍性 ～オカリナ演奏付き～ 座長：茅根義和 演者：三枝好幸										
14:00	13:40-14:40 講演 共感と共有の違い 座長：合田由紀子 演者：山崎 章郎	13:40-14:40 講演 〈聴きあう〉ともに考え、 支えあう 座長：梶原陽子 演者：田村恵子	13:40-15:10 シンポジウム 生老病死と向き合う現 代仏教—ウェルディング のたまえにある ウェルビーイング ※共催：科研費企画 座長：櫻井義秀 演者：高瀬順功 近藤玄純 濱田義孝	13:40-14:40 講演 10年、20年続く、緩和ケア としての神経難病看護 座長：横山聖美 演者：澤本枝里	13:40-14:40 事例検討⑤ 自動車運転と疼痛管理の狭 間で麻薬性鎮痛薬の使用に 難渋した前立腺がんの1例 座長：足立誠司、梅田 恵 事例提供：小野雄生	13:50-15:20 ワークショップ 国際交流広場 仏教思想×ケア ～ケアに携わる私たち自身の内 面を意識するワークショップ～ ※事前申込制 定員100名 ※会場スペースが許せば当日 参加(事前申し込みなし)も可 座長：栗原 幸江 演者：郷畑コゼフ、 オマルベ・ソマナンダ師	13:50-15:50 ワークショップ 「ミュージック・セラピー(音楽 療法)～見て・聴いて・感じて」 主催：中山ヒサ子				
15:00	14:50-15:50 講演 あなた自身のケアできていますか？ ～ケアする人自身のセルフコンピッション～ 座長：牧野 綾 演者：高宮有介	14:50-15:50 講演 社会的処方と緩和ケア 座長：竹生礼子 演者：西 智弘 助成：勇美記念財団		14:50-15:50 災害関連特別企画 東日本大震災から13年 ～絶望からの現在地～ 座長：田巻知宏 演者：及川陽次	14:50-15:50 事例検討⑥ ソーシャルサポートが 困難ながん患者の子へ のケアと今後の課題 座長：下稲葉順一、井上実穂 事例提供：川口恵子	15:30-17:00 特別事例検討① もう死なせてくれと泣 き叫び1日の大半を車 椅子で過ごす患者の苦 痛緩和に苦悩した 1症例 座長：茅根義和、岡山幸子 事例提供：森 里美	第1部 “スピリチュアルケア としての音楽療法” 工藤麻子、中山ヒサ子 第2部 “ワークショップ” 土屋益子 他				
16:00					16:00-17:00 事例検討⑦ 「もう限界」と漏らしたALS介 護者への介入在宅でALS患 者と家族を支える看護とは 座長：白山宏人、竹田寿里 事例提供：河村恵里						16:00-17:00 ポスター セッション
17:00											17:00-18:00 (大ホール C) 交流会 事前申込不要 参加費無料